

令和4年度12月（第9回）雲仙市教育委員会定例会会議録

期 日 令和4年12月23日（金）午後1時50分から午後3時30分
場 所 雲仙市千々石庁舎3階 多目的室
出 席 者 ・下田和章教育長 ・駒田義弘教育長職務代理者 ・仁禮智加子委員
・永岡悦子委員 ・江川儀平委員
・事務局 （ 富永教育次長、林田総務課長、中村学校教育課長
内田生涯学習課長、加藤スポーツ振興課長
総務課森田課長補佐（書記） ）
欠 席 者 なし

会議日程

第1 前回会議録の件

第2 報告事項

- (1) 教育長の報告
- (2) 各課の事業等の取り組み状況及び計画
- (3) 各課からの報告

第3 付議事項

なし

第4 その他

- ・次回雲仙市教育委員会定例会の招集日程について

教育長が令和4年度12月（第9回）雲仙市教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第1 前回会議録承認の件

「前回会議録承認の件」を議題とし、令和4年度第8回定例会会議録署名委員に駒田委員及び永岡委員を、令和4年度第1回臨時会会議録署名委員に仁禮委員及び江川議員を指名する。

事務局

- ・会議録を読み上げ提案する。

委員

- ・定例会会議録の3ページ目の発言について、一部修正をお願いしたい。

事務局

- ・当該文言を修正し、差し替える。

教育長

・他に意見、質問が無いことから、第8回定例会会議録及び第1回臨時会会議録の承認を宣言する。

日程第2 報告事項

(1) 教育長報告

- ・教育長が月例報告について資料により説明・報告について説明の後、教育次長より11月24日から開会された第4回市議会定例会における一般質問及び文教厚生常任委員会の報告並びに市内小中学校におけるコロナウイルス感染状況の報告を行う。

委員

- ・以前、コロナに2回罹った子が1人いると聞いたが、その状況はまだ変わらないのか？。

事務局

- ・全てを把握出来ているわけではないが、7月に罹った家庭で12月に再度罹ったケースもあり、2回罹患する子供も増えてきている。

教育長

- ・他に意見、質問がないことを確認する。

(2) 各課の事業等の取組状況及び計画

事務局

- ・資料により各課別に説明する。

委員

- ・樹木の剪定、伐採は計画的に実施されていると思うが、樹木自体に危険性が出てきた際、その木に対する記念樹とか地域の方の思いというものもあって、そこをうまく調整しながら、これから先も計画的に対応していただけると学校も非常にありがたいし、地域の人にとっても、特に記念に残るような樹木に対しては、大事にしてもらっているんだという気持ちを確認できると思う。予算との兼ね合いが大変かと思うが、状況に応じて適切に対応される様、今後お願いしたい。

事務局

- ・今後も計画的に進めていきたいと思う。

委員

- ・12月3日に行われた雲仙市少年の主張大会において、子供たちの発表がとても素晴らしく、大人の私たちもいろいろ考えさせられた。また教育委員の講評において、発表者一人一人にメッセージを送られて、子供たちの励みになったと思った。

委員

- ・少年の主張大会については、本市の健全育成会議が主催で私もその役員の1人であるが、先般教育長から「少年の主張大会と英語スピーチコンテストを一緒に出来たらいいですね」とお話をされて、私も同感だなと思った。直ぐには出来ないであろうが、少年の主張大会が、今後小・中学校による参加となった場合、それと合わせて英語スピーチコンテストを行うとなるとかなりの発表者に膨れ上がるなど課題もあろうかと思うが、何らかの形で工夫して、課題がクリアできれば、そういう方向で行くのも悪くはないと思った。

事務局

- ・少年の主張大会は生涯学習課が関わっており、実施主体は青少年健全育成協議会になる。英語スピーチコンテストは学校教育課主催であるが、教育委員会としての方向性は同じ部分もあることから、協議するよう努めたい。

委員

- ・英語スピーチコンテストを見せていただき、生徒たちが本当に一生懸命でとても英語が上手であった。ただ、配布資料の中に和訳があった方が良かったと感じた。また、どの学校も素晴らしかった一方で、その学校学校での指導力の差が目に見えてしまい、そういうレベルの差を感じていた。あと、審査の間にALTの先生が頑張って準備をされて、みんな仲良くゲーム等が行われたのはとても良かった。

委員

- ・先日の新聞に、文科省から「給食時に会話可能の通知を」ということで、県内は慎重、黙食を継続とか、そのような見出しがあった。現状からするとそういった状況にはない

と思うが、その点について、しばらくは今の対策をとっておくということか。

事務局

- ・「新しい学校生活様式」には黙食という言葉は入っていないため、文部科学省は、黙食を指導したことはないと公表している。「大声を出さない」ということは書いてあったが話をするなどは一言も書いてなかった。ただ実際私が市内の小学校で、(校長として)給食時の対応について教職員に指示を出したときには、黙食を徹底すると書いた文書を職員に配っていた。つまり、大声を出さない、小声はいいのか?どこまでいいのか?と言う事になるので、現場はやはり黙食になってしまう。ただ、新聞報道によれば、おしゃべり給食を解禁すると書いてあった。しゃべりながら給食を食べるのは給食のマナーという面から静かに食べるよう指導していた。そこのところが、現場の感覚と、行政の論理と、そして一般の方たちの思い描いている子供たちの元気な食事風景の違いが如実に出了た案件であると思う。市教委としては、学校に対して今までどおり、学校生活様式に則った指導をお願いしていく。それ自体は、今も通知は変わっていない。

教育長

- ・他に意見、質問がないことを確認する。

(3) 各課からの報告

事務局

- ・総務課から、12月20日開催の第1回雲仙市立小・中学校の今後のあり方検討委員会の内容について説明する。

事務局

- ・総務課から、令和4年度第2回総合教育会議の協議テーマについて説明する。

事務局

- ・学校教育課から、雲仙市教育委員会指定研究事業の公開授業について説明する。

教育長

- ・特に意見、質問がないことを確認する。

日程第3 付議事項

なし

日程第4 その他

- 1 次回、雲仙市教育委員会定例会の招集日程について、令和5年1月27日（金）午前9時30分から雲仙市千々石庁舎3階大会議室で開催することを確認する。

教育長

- ・ほかに意見、質問、報告等がないことを確認し、令和4年度12月（第9回）雲仙市教育委員会定例会の閉会を宣言する。